

当事者の声

「生事の一生」 曾根 朗

私が死のうと思ったのは  
 思う人がいなかったから  
 私が死のうと思ったのは  
 生きるのがつかったから  
 私が死のうと思ったのは  
 人生きびしかったから  
 私が死のうと思ったのは  
 いやになったから  
 私が死のうと思ったのは  
 自分がいやになったから  
 私が死のうと思ったのは  
 幸せになれなくて、相手がいなかったから  
 私が生きようとするのは  
 なさけない自分で生き続けて死ねないから  
 私が生きるのには  
 なかまが苦しいから  
 私が生きるのには  
 いじめに負けないために生きるから

★ホームページでも、「そねっ詩コーナー」に掲載をスタートしました。



茂雄のカラフル漫画



太郎の漫画

お願い

～賛助会員になってください～

NPO法人そよかぜねっとは、精神しょうがいのある人たちが安心して、自分らしく、自立して暮らせる地域創りを目指し、就労継続支援B型事業「やすらぎ工房」の運営、啓発・広報、地域交流活動を行っています。一人でも多くの方のご理解とご支援を願っています。

年会費：個人2千円・団体3千円  
 (会費は、法人の運営費に充当されます。)  
 ～ご賛同頂ける方は、下記電話までご連絡ください～  
 払込用紙(手数料不要)を送らせていただきます。  
 ☎ 0794-85-9990 ・ FAX 0794-60-4533

編集後記

過日、私の好きなNHK「新映像の世紀」で感動したこと～アメリカのあるロックバンドレコードがたまたまチェコのハベルの手に渡り、その歌詞と音に魅せられ、たちまちチェコ市民の人気を得て、市民の当時の独裁反対デモにソ連が繰り出した戦車に非暴力の抵抗、やがて1898年ピロード無血革命、プラハの春につながった。ハベルはチェコ大統領に。  
 チェコ体操選手チャフラスカは当時のオリンピック表彰式でソ連国旗に抗議の姿勢---音楽やスポーツの力を感じた史実です。さわやかな音楽やスポーツ、ときに絵にホットする時、心安らぐひと時を！(伊東)

先日ネットニュース？でマツコ・デラックスさんが幸福について「他者を介在させずに喜びを得ること」と話されていたというものを読みました。「誰か」からどう見られるか・どう思われるか・一般的かではなく、自分自身が主観的に楽しい・心地いい・幸せと思えることに自信を持ることが必要だと思いました。また、人によって違う世界を、自分の視点だけで遠ざけてしまわないことも等しく大切だと感じます。正解のない時代とも言われてます。周りと同じでなくてもいいと互いに互いを思いやれる世界は、きつともっと自由だ！！と思うのです(\*´艸`)(北上)

就労継続支援B型事業所  
 やすらぎ工房  
 共同生活援助事業所  
 そよかぜはうす

〒673-0521 三木市志染町青山1丁目26番地  
 ☎ 0794(85)9990 FAX 0794(60)4533  
 mail: yasuragi-koubou@maia.eonet.ne.jp  
 URL: http://yasuragikoubou.main.jp/

危険な時代を生き抜く力を

理事長 伊東久雄

“アウシュヴィッツ生還者からあなたへ”より  
 リリアナ・セグレさんはユダヤ人というだけで、イタリアのミラノからポーランドのアウシュヴィッツ強制収容所に送られ、さらにソ連軍の反撃から ナチスドイツが犯罪を隠すため、収容所囚人はドイツ国内へ「氷点下、徒歩で死の行進四か月(1945.1～1945.5 約6万人中1.5万人以上犠牲)、13歳から14歳の「二年間、”人間”に出会うことはありませんでした。出会ったのは人の心をなくした”怪物”ばかりでした」その体験を60歳から語り続け、90歳の最後の証言(2020.10)を取材したジャーナリスト中村秀明氏が「日本の若者の死因の第一は自殺です(15～39歳の死因一位は自殺、主要7か国で日本のみ---22.3.27 毎日新聞記事)、交通事故や病より多い、何かメッセージを」に「日本の若い人たちは知らないかもしれませんが、アウシュヴィッツ収容所の周囲には高圧電流の鉄条網があり、触れて死を選ぶのは簡単だが、自殺する人はほんのわずか、生きていることは素晴らしい」と語る。その過酷な少女時代を経ての生涯と「無関心は暴力そのものより暴力的である」「何かにつけて選択しなくてはいけない時に、その勇気のない人がいます」「無関心に陥らないためにも歴史を学ぶことが大事だ」等の言葉に感動した(13歳セグレさん→)



アウシュヴィッツ収容所に送られる前(13歳のセグレさん)(セグレさん提供)

ヒトラー障害者安楽死T4計画からホロコーストが始まった  
 人類史上未曾有の約六百万人の大量計画虐殺=ホロコーストがヨーロッパの心身障害者・不治の病患者対象の安楽死殺害計画から始まった。恐ろしいこと！76年前「鬼畜米英」「本土決戦」「一億特攻」---と日本人が扇動された敗戦直前、時代の流れに私たちは翻弄され、人間は正気を失うことがあるとつくづく痛感する。核戦争寸前の1962年キューバ危機に米大統領ケネディとソ連首相フルシチョフとの理性的な対話などで間一髪破滅を防いだ。わずかのリーダーだけが核兵器使用命令のボタンを握る時代に生き

(←筆者カット)ている。

犬の歓迎に癒されるウオーク



健康のためのウオーキング途中で、近くの飼い犬が鎖に繋がれたままのようについ毛波をなでてやると、毎回出会うとしっぽを振ってすり寄る。“犬は人類最良の友”という。「無関心は愛の反対」というのは、動物にも通用する気がする。人類の環境破壊による、46億年の地球史上六回目の生物絶滅の危機を迎える今、「14歳、生きる道を選んだ」セグレさんにあやかって、危険な時代を生き抜く力をつけたい。(2022.4.2 記)

主な参考文献:リリアナ・セグレ、中村秀明訳「アウシュヴィッツ生還者からあなたへ」岩波ブックレット 地球科学研究クラブ編「地球46億年の秘密がわかる本」学研プラス

### 《平和》 就B職員:木積 久員

new face

ロシアによるウクライナ侵攻では罪のない市民が苦しんでいる。日本ではロシアに対して経済制裁やロシアによるウクライナの首都の呼び方をキエフからウクライナの呼び方のキーウに変更してウクライナに寄り添い対応している。



1日でも早く戦争が終わり、平和になってほしい。良いニュースがテレビ、ラジオで流れてほしいと願っています。

### 《ウクライナ募金とおしゃカ様》 森本 和豊

僕は、ウクライナの人が困っておられるようなので、500円募金しました！  
22年前おしゃカ様に神戸教会でお賽銭を挙げていますと、入院先の精神病院の困っている人の悩みと一致した新聞見出しがある機関紙をもらいました！  
お釈迦様のお下がりです！  
そして、11,000円ぐらいの本を買いました。これからは、ウクライナの人・困っている入院先の精神病院の人など、人の悩みを聞いて、それがわかる行動をしていきたいと思します！  
おしゃカ様、ありがとうございました！

### 『そよかぜはうす』ただ今お色直し中

そよかぜはうす世話人:中井 啓之

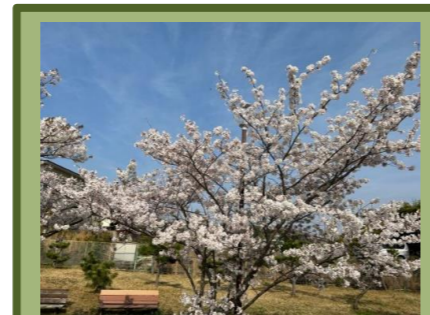
そよかぜはうすは、今(4月末現在)外壁工事のために足場が組まれ、家屋全体が網のシートで覆われています。家屋はしっかりした造りで建てられているのですが、年数経過により外壁が変色したり、屋根が所々痛んだりしていました。

ですので、「公益財団法人神戸やまぶき財団」様のご援助でそよかぜはうすの外壁が塗りなおされ、屋根が修理されることに心より感謝しています。

網のシートが取り外され、そよかぜはうすが新たな姿を見せてくれるのを、メンバーさんと共に楽しみに待っています♪

### 【緑が丘北公園の桜 2022】

写真:北園 純也



### お色直しが終了しました！！

管理者:北上 亜矢子

この度、公益財団法人神戸やまぶき財団様より、グループホームの外壁塗装に伴う助成をいただき、4月7日着工、5月14日に足場解体を含めすべての工程を終了いたしました。近隣のみなさまにはご迷惑をおかけいたしました。ありがとうございました。

外壁はミルクシーホワイト、屋根はグリーンと、とてもさわやかな色味です。割れて雨水が漏れていた雨樋も真っ白に生まれ変わりました。

やまぶき財団様には、外壁塗装含めこれまでで8回の助成をいただきました！！助成金は、私どもの事業活動においてなくてはならないもの！というくらい大きな存在です。

車両、グループホーム備品、資材倉庫、トイレ改修...度々運営をしていく中での「困った」や「目標」に向けての課題に対し、たくさんお話も聞いて頂き、寄り添っていただき、助成のチャンスももらっています。また、研修の機会をいただいたりと、多岐にわたって障害福祉支援で本当にお世話になっています。



助成団体:公益財団法人神戸やまぶき財団様  
助成額:2,640,000円  
作業先:株式会社 MIC様

NPO法人ポータルサイト | NPO法人ポータルサイト | NPO法人ポータルサイト | NPO法人ポータルサイト | NPO法人ポータルサイト | NPO法人ポータルサイト | NPO法人ポータルサイト | NPO法人ポータルサイト | NPO法人ポータルサイト | NPO法人ポータルサイト

利用者	年齢	20~	30~	40~	50~	60~	
◆利用契約人数 (R4.3.31現在)	男女	0	5	4	11	5	2
		23	4	2	16	4	
◆通所者延人数(年)		4,320人					
◆1日平均通所者		18.2人*					
◆開所日数		238日					
◆送迎利用延人数		4,237人 (1日平均 18.0人)					

利用者工賃	
◆工賃支払い人数(平均)	23人/月
◆工賃・ボーナス総額(平均)	16,649円/月
工賃平均(月)	12,255円 (23人)
ボーナス平均(年3回)	22,535円 (25人)
◆工賃支給総額(年)	459万円

職員給料	
◆常勤職員	5人
◆パート職員	1人
◆給料・通勤手当・賞与	2,158万円
◆給料・通勤手当・賞与	102万円
◆退職給付費用	22万円

収入	
◆訓練等給付金等	3587万円
◆会費収入	7万円
◆寄付金・助成金等	10万円
◆負担金収入・雑収入等	97万円
◆作業収入	373万円
◆内職収入等	387万円
◆お祝い金・補助金	100万円
◆合計	4,074万円

保有不動産	
◆建物	73.27㎡ (木造瓦葺平屋建)
◆土地	247.95㎡
◆建物	168.68㎡ (軽量鉄骨2F建)
◆土地	258.37㎡

支出	
◆給料・賞与・手当等	2285万円
◆社会保険料	347万円
◆光熱費・通信・旅費等	81万円
◆事務機等使用料・備品	140万円
◆修繕・消耗品・委託費等	165万円
◆給食費・保険・その他	300万円
◆減価償却費	102万円
◆支払工賃(メンバー給料)	459万円
◆作業材料費等	3万円
◆地代家賃	0万円
◆合計	3,882万円

～ 左上にヒト、左下にモノ・コト、右半分にかね ～

共同生活援助利用者	
◆利用契約人数 (R4.3.31現在)	5人
◆利用者延人数(年)	1,539人
◆月平均利用日数	28日
◆開設日数	365日

共同生活援助利用者 日中活動先	
◆就職先企業	1人
◆就労継続支援B型事業所	4人
◆就労継続支援A型事業所	0人
◆生活介護事業所	0人
◆計	5人

短期入所利用者	
◆利用契約人数 (空床数)	8人
◆利用者延人数(年)	200人
◆月平均利用者	0.5人
◆送迎利用延人数	100人

食事提供数	
◆朝食	1269食
◆夕食	1372食
◆計	2641食

短期入所利用者 日中活動先	
◆就職先企業	1人
◆就労継続支援B型事業所	6人
◆就労継続支援A型事業所	0人
◆生活介護事業所	1人
◆計	8人

収入	
◆訓練等給付金等	873万円
◆利用者負担金	261万円
◆補助金・助成金等	142万円
◆GH家賃助成	77万円
◆新築開設費・その他	66万円
◆合計	1,276万円

職員	
◆常勤職員(内1名B型事業所兼務)	2人
◆パート職員	4人
◆給料・通勤手当・賞与	894万円
◆退職給付費用	6万円

支出	
◆給料・賞与・手当等	827万円
◆社会保険料	72万円
◆光熱費・通信・旅費等	72万円
◆事務機等使用料・備品	0万円
◆修繕・消耗品・委託費等	77万円
◆給食費・保険・その他	143万円
◆減価償却費	280万円
◆地代家賃	0万円
◆合計	1,471万円

ちよっと小さくて見づらいので...

資料はホームページ上でも公開しています。